

見えないものの 見える化（3）

兵庫県立芦屋特別支援学校
平成30年11月 7日(水)
地支セン通信 No. 10

「声のものさし」

「ちょっと」「ちゃんと」「少し」などの言葉の指示は子ども達にとってわかりにくく、そのような抽象的な言葉は人それぞれで捉える感覚が違います。見えないものを数値化することで、適切に行動できる手掛かりとなります。

こんなことを思ったことはありませんか？

「大きな声で話しかけてしまい、友達を驚かしてしまう。」

「つぶやき声が大きく、授業が進まない……」

「もう少し大きな声で発表してくれないと、みんなに聞こえない。」

「隣の友達との相談はもう少し小さな声でしてほしい……」

そんな時の「見える化」アイテムは…？

実際に、顔の付いた青い指標を動かしながら説明します。

「頭の中の声は0でお願いします。」



「今は3の声が出ているので、2の声でお願いします。」

・声の大きさを数字に置き換えて示し、大きさに意識を向けるようにします。

・自分の声の大きさを意識させるとともに、適切な声の大きさを示してあげることが大切です。



こえ 声のものさし（教室編）



【声のものさし(教室編)】
教室の中で使用するために作成しました。「心の中で」「となりの人と話し合う」「グループで話し合う」「発表する」などを段階に分けています。

